



原

尚

第10回

星の里いわふね 和太鼓フェスタ

サエキ 囃子

冬祭

鼓童

太鼓芸能集団

fuyusai

2023年2月26日(日)

星の里いわふね

〒576-0033 交野市私市9-4-8

開場 【学校の部】開場12:00 / 開演12:30 **(入場無料)**
開演 【一般・ゲストの部】開場14:00 / 開演14:30 **(有料)**

入場料 大人 ¥2,000 / 子ども ¥1,000 (小・中学生)
未就学児 入場無料 ※保護者の膝の上とさせていただきます

参加予定団体

- 《学校の部》交野市立藤が尾小学校 / 中宮まぶね保育園 / 光の峰保育園 / ででんこ交野 / シークレットT
- 《一般の部》妙見星太鼓 / 私市っ鼓 / 星の里いわふね和太鼓道場 / なわて子ども太鼓 / 和太鼓 暁魂
- 《友情出演》ソーラン隊「宝」
- 《特別出演》チェ ジェチヨル(韓国杖鼓) / 飯田 華那(津軽三味線) / サエキ囃子保存会
- 《ゲスト》太鼓芸能集団 鼓童

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、出演団体及び出店内容が変更になる場合があります。

**ごちそう
横丁**
17時開店!

主催:星の里いわふね和太鼓フェスタ実行委員会 / 星の里いわふね指定管理者 毎日美装(株) 後援:交野市教育委員会

チケット販売開始 2022年12月21日より星の里いわふね窓口(電話取り置き可) TEL:072-893-3131 HP:<http://www.k-hoshinosato.jp> 他、取り扱い店舗にて

冬祭10周年 そしてこれから...

これまでたくさんの方々のお力添えをいただき、冬祭は記念の10回目と言う節目の年を迎える事ができます。

心から感謝いたします

太鼓のドン!と言う音には何か不思議な力があります。その"何か"をお客様、出演者の皆様と共有したい、...
そんな想いでスタートした冬祭は小さな種から芽が出て大きく成長したと感じています。
言葉ではうまく表現できませんが、太鼓が繋いでくれた皆様との時間も、その"何か"なのかもしれません。
そしてこれからも太鼓が人と人を繋いでくれると信じています。

原点

沖縄で出会ったエイサーの音
太鼓を始めた妙見星太鼓の音
学びをいただいた神奈川馬匠氏の音
そして
太鼓芸能集団 鼓童の音

太鼓の音にある不思議な力を今日もまた皆様と共有したいと思います。
一輪の花が咲く日を皆様と迎えられる事を嬉しく思います。

星の里いわふね和太鼓フェスタ実行委員会 代表 佐伯篤宣



©Takashi Okamoto

太鼓芸能集団 鼓童

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。「鼓童」とは、人間にとって基本的なリズムである心臓の鼓動から音(おん)をとった名前、太鼓の響きが母親の胎内で聞いた最初の音(心音)を想起させることによるものです。そして「童(わらべ)」の文字には、子どものように何ものにもとられることなく無心に太鼓を叩いていきたいという願いが込められています。

1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。以来53の国と地域で7,000回を超える公演を行なってきました。なかでも、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をテーマとした「ワン・アース・ツアー」は、世界各地で4,200回を数えています。2001年に日本人アーティストとして初めてノーベル平和賞コンサートへ出演。2002 FIFA World Cup KOREA/JAPAN™公式アンセム曲への参加やオフィシャル・コンサートに出演。2003年に世界各地で公開され話題となった中国映画「HERO」では全編にわたりサウンドトラックを担当。2006年、結成25周年を記念し歌舞伎俳優・坂東玉三郎氏との共演による舞台「アマテラス」を開催、2007年には歌舞伎座で再演。2012年より2016年まで坂東玉三郎氏を芸術監督に招聘。2021年には創立40周年を迎えました。



郷土芸能 サエキ囃子

100年後に残る郷土芸能を地元交野市に...
2020年、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い「舞台で何かを表現する」ということが出来なくなりました。お客様に集まってもらうことが出来ないのであれば、道端でそれぞれのスタンスで見ってもらう。言わば、こちらから出向く。合わせて、疫病退散・五穀豊穡を願う祭りを作れないかという思いからスタートしました。和太鼓奏者の佐伯篤宣を中心に有志で結成され、アドバイザーにチャンゴ奏者のチェ・ジェ Chol 氏を招き、担ぎオケ太鼓を使っての練り歩きという形で、2020年7月に私市地区にて「虫送り祭」が行われました。

日本全国には素晴らしい郷土芸能がたくさんあります。いつの日か交野市のサエキ囃子もそんな素敵な祭りの一つになることを願い活動していきます。



韓国太鼓奏者 崔在哲(チェジェ Chol)

1979年2月15日生まれ。大阪生まれ東京育ちの在日コリアン3世。青山学院大学卒業後、韓国打楽器をリ・チャンソプ氏に師事。ソルチャング(韓国太鼓の独奏)を軸にして、民俗音楽、伝統音楽、現代音楽、バンド音楽の垣根を越えて様々な場面で活躍。韓国太鼓の他、ギター、ピアノを使っての楽曲製作(作詞、作曲)、CM音楽製作(資生堂化粧品 2008春夏)、舞踏(田中派)とのコラボレーション等も行う。2009年より、日本と韓国の文化に触れる旅「Chango Walk」始める。「歩く生活、歩くリズム」を求めて、東海道五十三次、西日本横断、日本～韓国、富士山詣、三陸、佐渡ヶ島一周など延べ3000kmの道のりを太鼓を叩き歩いた。山、川、海、アスファルト、道端で感じるリズム、踊り、歌をテーマにした音楽表現活動を続けている。「三陸国際芸術祭」「天籟能の会 能楽×農楽(東京国立能楽堂)」「SANSYO DAYU(韓国、カザフスタン)」など国内外で演奏活動を行う。多民族芸能集団「わたら」、日韓アイリッシュバンド「クヌゲンチェライ」に所属。東北民俗芸能団体と韓国農楽の文化交流を行いながら、青森県八戸の郷土芸能「えんぶり」にも参加する(八太郎えんぶり組に所属)。

<https://www.choijaechol.com>



津軽三味線奏者 飯田華那

大阪府出身
日本民謡。藤本流三味線の大師範でもある祖母の影響で藤本流三味線を始め13歳の頃に津軽三味線に魅了され転向。15歳で津軽三味線 山中信人師に師事。令和2年 山中流名取師範 山中信那 妻名。津軽三味線 全国大会で数々の賞を受賞。お客様に感動して下さるのが心嬉しく、今後の活動と意欲に繋げている。大阪拠点に

活動し地域活動も自ら意欲的に参加し各イベントにも出演している。

《主な活動歴・受賞歴》

2022年 Global Gift GALA in TOKYO 2022 出演
2021年 第9回 津軽三味線津軽民謡全国大会inびわ湖大会 一般女性の部 優勝/第1回全国じょんがら三味線競技会 石川大会 一般女性の部 準優勝/第39回 津軽三味線世界大会 個人B級 準優勝
2020年 市制施行50周年体育文化功労者表彰受賞
2018年 第37回 津軽三味線世界大会 唄付け伴奏B級 優勝/第37回 津軽三味線世界大会 ユースC級 優勝/四條畷市文化奨励賞受賞/新港国際音楽会 日本代表(台湾公演)

【学校団体】

交野市立藤が尾小学校/中宮まぶね保育園/光の峰保育園/ででんこ交野/シークレットT

【一般団体】

妙見星太鼓/私市っ鼓/星の里いわふね和太鼓道場/なわて子ども太鼓/和太鼓 囃魂

【友情出演】

ソーラン隊「宝」

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、出演団体及び出店内容が変更になる場合があります。

会場

星の里いわふね

〒576-0033 大阪府交野市私市9-4-8
TEL:072-893-3131
HP:<http://www.k-hoshinosato.jp>

※駐車場には台数制限があります。 ※出来るだけ公共の交通機関をご利用ください。

チケット販売

星の里いわふね窓口にて絶賛販売中

※お電話でのチケットお取り置き可 ※前売り券が完売した場合、当日券はございません。

